

各事業所からのお知らせ

■ 就労継続支援 B 型事業所 シンフォニー

シンフォニーは 2019 年 9 月をもって、無事に開所 1 周年を迎える事ができました。これもひとえに地域の皆様のご協力と見守りのおかげです。感謝申し上げます。

さてシンフォニーの大切な役割は、日々の活動を通して就労・就職する為に必要な準備のお手伝いをさせて頂くという事です。利用される方は皆、「就職」というシンプルかつ大きな目標を胸に、日々作業に励んでおります。このような中、開所以来めでたく 4 名の方が自分の抱いていた目標を達成し卒業されました。現在も継続して勤務されています。卒業された方からは明るい声でいつも連絡をいただきます。「体力もつき仕事に慣れたので、労働時間を増やしたいと思う」、「初給料をもらった！とても嬉しい！」など、とても前向きです。今年度の 4~8 月は利用者様への工賃が平均 33,000 円を上回る事が出来ました。今後もシンフォニー職員一丸となって就労・就職への「気持ち」をしっかりと支えていきたいと思っております。

■ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所 森林

当事業所は利用者様に対して「介護が必要な時間」にご自宅を訪問しサービスの提供をしています。

お一人で生活を送られている F 様は通所サービスを週 5 日ご利用になられています。

健康チェックし、更衣や食事の調理・提供などを含めた通所サービス出発前の準備をお手伝いさせて頂いております。

「今日も楽しい一日になると良いですね、行ってらっしゃい！」



■ 訪問看護ステーション 森林

★秋バテを予防しましょう

朝夕の風に秋の気配を感じるようになってきました。少し涼しくなってきた頃に、なんとなく元気がない、だるい、疲れが抜けない、食欲がない…そんな症状がでていませんか？もしかすると「秋バテ」が原因かもしれません。夏はエアコンの効いた室内で過ごす事が多い為、気候が落ち着いた秋に体調を崩す方が増えるようです。秋バテは自律神経の乱れが原因の一つとして挙げられます。

対策のポイント

- 飲み物はできるだけ常温のものを
 - 暖かいものを食べる
 - 消化の良いものを食べ、胃の負担を減らす
- さらに、ウォーキング等の運動で体の芯部を温める、シャワーだけでなく湯船に浸かり体を温めるという事も効果的です。

■ なめがわ地域 福祉支援センターからのお知らせ

福祉用具展示スペースを設けました

当センター 2 階の多目的ホールの一角に福祉用具の展示スペースを設けました。リハビリシューズをはじめ、歩行器にシャワーチェア、様々な形状の手すりなど、介護を必要とする方が在宅生活を送るうえで便利な介護用品を数点、展示致しました。来所された際、実際に試用もできますので、遠慮なくお手に取ってご覧ください。また、種類は少ないのですが、随時更新していく予定です。また、「杖の高さの調節がわからない」、「リハビリシューズってどんなものがあるの？」など、福祉用具の使い方や選定でお困りの方がいらしたら、当事業所のリハビリスタッフにご相談ください。



■ 一般・特定相談支援事業所

障害福祉サービスを利用する為のサービス利用計画の作成・利用の調整、定期的なモニタリングを行っています。サービスを受けたいけど良くわからないなどの質問がある方も遠慮なくご連絡ください。

編集後記



お彼岸が過ぎ、朝夕の寒暖差が大きくなりました。体を冷やし体調を崩さないよう過ごしたいものです。秋の夜長…読書するもよし、運動するもよし、秋の味覚を思い切り楽しむのも時としてよし。「肥ゆる秋」にならぬ様気を付けます。

編集担当 平岡

なめがわ地域 福祉支援 センターだより

なめがわ地域 福祉支援センター



〒355-0811

埼玉県比企郡滑川町大字羽尾 1041-7

TEL0493-81-5101/FAX0493-81-5102

なめがわ地域 福祉支援センターHP <https://www.kokoro.or.jp/namefuku>

■ 指定居宅介護支援事業所いづみ



備えあれば憂いなし ～ いざという時のために ～

なめがわ地域 福祉支援センター
センター長 清水 みゆき

季節は巡り、木々の葉はオレンジ色の洋服を着ようとしています。秋らしい気候になり少し体を動かしてみようかなと思う今日この頃です。

さて、この1か月間は自然の脅威を感じさせられた時間でした。台風15号で被害を受けた千葉県の映像は記憶に新しい所です。被災された方々にはお見舞いを申し上げますと共に一日も早い復興を心からお祈りしています。私達が住む埼玉県は比較的、自然災害が少ないと言われておりますが本当に他人事というのはなくて、「明日は我が身」という言葉を噛みしめています。

集中豪雨で川が氾濫し避難をしなければいけない、断水や停電が発生して復旧の見通しがわからない、家族と連絡がつかない…。そんな時、「備え」がとても大切だと思うのです。

今年3月に現役引退をしたシアトルマリナーズのイチロー元選手も現役時代、試合に出ない時も普段と変わらない準備運動を行っていたそうです。まさに備えのお手本であり学ぶべき所が沢山あります。以前、当事業所で開催した介護サロンの時に「災害時のトイレ」について紹介をさせて頂いた事がありました。トイレにポリ袋を被せて携帯トイレを設置したり、紙おむつやパットを敷いて利用するという緊急時の対応という内容でしたが、そのような知識を学ぶという事も備えの一つだと思います。

私が以前、担当させて頂きました利用者様で台風が心配な時、夜中は避難できないので早めに施設に入所する事にした方や近くの集会所に避難した事のある方もいらっしゃいました。災害時に思うのは備えという事の他に近所の方々との関わりがいかにか大切かという事です。そのような関わり一つ一つを支援する、見守る事も私達の大切な役割だと感じています。何かお困りの事がありましたら遠慮なくご相談ください。



安全運転で地域の皆様の元に伺います！

★お知らせ

2019年10月からの消費税法改正に伴い診療報酬・介護報酬の点数・単位が変更となります。ご理解の程よろしくお願い致します。